

静岡市駿府の古地図の観光活用に向けた歴史地理・環境防災研究

静岡大学 山本研究室

静岡英和学院大学 洪ゼミ

指導教員：山本隆太、洪明真

参加学生：西田舶十、生田目藍琉、中山将吾

1 要約

静岡市は歴史的資源に恵まれており、博物館開館などで歴史に対する関心が高まっているものの、古地図を活用した街歩き観光には検討の余地がある。本研究は、江戸時代の町割りが一部残る駿府エリアにおいて、古地図とICTツールを活用した観光・教育の促進を目的として、古地図の収集・解釈、GISでのデジタル化、フィールドワーク調査に基づいて、地域の歴史地理理解のためのパズル教材開発を行った。古地図のデジタル化については継続的な研究が必要である。今後は教材の防災教育への活用や地域への展開を目指す。

2 研究の目的

静岡市は2023年、静岡市歴史博物館が開館するとともに、NHK大河ドラマ「どうする家康」の大河ドラマ館がオープンし、その経済効果が119億円であったことが静岡経済研究所より報告されている。申請者が観光団体関係者にヒアリングをしたところ、静岡市中心部には歴史的な事象がありまたそれを解説するボランティアもいるのだが、古地図を活かした街歩き観光の取り組みには課題があることがわかった。駿府は江戸時代からの町割りの一部が「感じられる」街区が残っているため、歴史観光に向けた地域であるといえるが、そのポテンシャルに比較するとその価値が十分に生かし切れていないといえる。その理由の一つは、江戸時代の町割りが「感じられる」とはいえ、江戸時代における人口急減と災害によって町名が移動・変化を経験しており、厳密な意味での歴史学からみると、これら詳細を踏まえた地図を作図することが非常に困難なためであると考えられる。

ここで同様の取り組みについて先行する東京に目を向けると、江戸時代の町割り地図と現在の地図を重ね合わせて散策するためのスマートフォンアプリ「大江戸今昔めぐり」、江戸・明治・現代の重ね合わせができるウェブGISのmapmap.tokyoなど、歴史地理のICTツールがウェブブラウザやスマートフォンアプリケーションとしてユーザーに提供されている。これらが可能となっているのは、厳密な意味での復元図ではなくある種の主題図としての古地図が提供者によって作成・公開されていることによる。よって、静岡市駿府でも、駿府の町割りを解釈した地図を作ることで歴史地理ICTツールを提供することができるのではないかと考えた。

そこで本研究は、歴史地理的なICTツールを活用した観光や教育の促進を最終的な目標とし、今年度は、そこに向けての古地図の整理と解釈を研究目的とした。

3 研究の内容

古地図を複製収集した上で、GIS（地理情報システム）アプリケーションで整理するとともに、駿府の町割りについて解釈を加える。解釈地図をアプリケーションに載せ、まちあるきでの使用に耐えうるか、学生による実証実験を行う。

4 研究の成果

(1) 当初の計画

- ・9月第2週以降、静岡市歴史博物館、県立図書館、静岡信用金庫、顕光院など古地図・資料を保有する組織や個人を訪問し、複写による収集を始める。
- ・10月以降、ゼミの一環で集めた古地図を解釈し、駿府の町割りについてGIS上で解釈に基づく整理を試みる。
- ・12月、作成した地図を基に街歩きを行い、スマホアプリ「スーパー地形」、Google Earth、地理院地図など既存のスマートフォンGISアプリケーションを用いてフィールドでの実証試験（歴史地理&環境防災的な視点）を行う。

(2) 実際の内容

上記(1)のうち、古地図・資料収集については、駿府絵図の中で古いものの一つとされる犬山城所蔵の地図の提供を受けるなど、一定程度遂行できた。また、古地図の解釈や町割りの推定についてはフィールドワークによって現地確認をすることを通じて実施できた。一方で、上記の取り組みに時間がかかった結果、スマートフォンGISアプリケーションを用いた実証試験にまでは至っていない。

なお、本研究の手法がそもそも研究方法として難あることは自明だが、今回の取り組みを通じて改めて、古地図の地図上での重ね合わせ復元については、駿府においても時系列的に新しいものから古いものへと連続的に町割りを辿る必要性があり、その意味では継続的に地図を収集し続ける必要がある。

次に、実際の研究内容について報告を行う。

1) mapmap.tokyo主宰者に対するヒアリング

東京での歴史街歩きの重要な素地を提供しているmapmap.tokyoの主宰者を招聘し、歴史地図のGIS作業プロセスならびにオープンデジタル化（タイル提供）についての現状と課題について情報提供を受けた。課題としては著作権とともに、歴史的な疑義が呈される可能性があり、その対応の必要があることが共有された。



ウェブ古地図に関する情報交換の様子



古地図に基づく予察図

2) 古地図の収集

駿府の古地図に関しては静岡県立中央図書館をはじめ各所に存在している。今回はとりわけ2013年の静岡市の調査で確認された犬山城白帝文庫所蔵「駿府絵図」を借用することができた。静岡市歴史博物館にも展示されている地図であり市民の関心も高い。今回の研究においては犬山城白帝文庫に協力を得ることができ、これをベースとした研究を進めることができた。

3) 駿府フィールドワークの実施

駿府絵図と現代の地図（Openstreetmap/地理院地図のベースマップ）を用いて予察図を作成したのち、まじわりの痕跡を検討するためフィールドワークを行った。フィールドワークは2024年10月13日、12月14日に行った。現地踏査ではとりわけ、町割り（町の区画）について寺、水路（暗渠含む）などの地物

を手掛かりとしつつ、住民の聞き取りなどを基に暗渠化された水路なども推定しつつ、可能な範囲で町割りを特定した。特定したものは現地で地図上に直接筆記した（手描き地図）。

4) QGISによる作図

フィールドワークに基づいて作成した手描きの古地図を、QGISを用いてデジタル化を行った。

なお、学術的に考えれば、現在の地図に古地図を直接重ねて分析、特定するといったプロセスは当然認められない。現在の地図から平成、昭和、大正、明治と時代をさかのぼりながら実測地図を重ねていき、町割りの変遷を正確に把握した上でそれ以前の江戸期を推察する必要がある。今回の研究ではあくまで教育・観光に資するものを作成するという点に重点を置き、歴史地理的な手法については今後の課題とした。



フィールドワーク



手描き地図



地図のデジタル化



教材化（パズル）

5) 教材化

フィールドワークならびにデジタル化した地図の教育活用の方法について検討を行った。静岡大学教職課程「社会科教育法」において、地域社会の理解を進める学習の一環として、駿府の古い町割りをパズル状にし、その古地図のピースを現在の町割りと重ねるという作業型学習を考案した。この学習を通じて、静岡の歴史に対する関心喚起とともに、まちわりの共通や差異についての検討を通じてまちの変遷について考える教材を作成した。また、昨今では探究型学習が進む学校教育において、地域社会の課題を考える学習単元が多く設定されている。これらの中でも地域に関する導入教材として位置付けられる可能性もある。

実績・成果と課題

今回の研究では、地図のオープンデジタル化の現状、古地図の収集、フィールドワーク、駿府の歴史地図の一部デジタル化、教材開発を行った。

静岡市にはまちあるきガイド団体があり、歴史観光まちあるきを実践しているが、歴史地理的なICTツールが提供されることで、歴史まちあるきをより一層推進することが期待された。この点については歴史地図の作成上の課題（町割りの特定の困難なエリアがあること）に直面し、これを解消するためにはさらなる根拠資料の収集が必要となるため、今回の研究では十分に成果を上げることができなかった。ただし、一部の地図をGISを通じてデジタル化できたため、技術的には可能であるが示された。

また、古地図の解釈図（主題図）を用いたパズル教材を開発した。この教材は、現在の地図の上に、江戸時代の町割りを取り除かれたピースを置いていくことで、町の変遷を理解する教材である。近年、学校教育において探究学習に極めて高い関心が集まっているが、地域の題材を取り上げ、また、フィールドワークを通じて探究学習を進める際の基盤的情報を提供することができる教材となっている。

(3) 今後の改善点や対策

パズル教材をさらに拡張し、パズルピースの中に過去の水害や火災などの情報アイコンを埋め込むことによって、地域の歴史や災害・防災について、地域特性を理解しながら環境防災を理解することが可能となる。自然災害についての関心が高まっている昨今、一般市民を対象とした防災まちあるきの取り組みが生涯学習センターなどを中心に行われている。過去の歴史と災害履歴をフィールドで確認しながら学ぶとともに、パズルを通じてまとめるような学習上の工夫や展開が可能となる。

5 地域への提言

今後は今回開発したパズル型教材を使った地域の歴史学習や、防災教育への転移などを検討している。また、学校教育に留まらず広く社会教育・生涯学習の分野でも活用することで、シビックプライドの醸成へとつなげていくとともに、観光利用の可能性についても引き続き探っていく。

6 課題提出者・地域からの評価

静岡の現在のまちの姿は、歴史の積み重ねによって成り立っている。市民の歴史に対する関心を喚起するような地理歴史教材に対しては、今後、専門家にも助言をうけつつ、改善に期待を寄せている。（静岡県立高等学校・教諭）